

救急・災害時の医療

- ・ 東京都の救急医療の課題と対策～2040年に向けて 理事 新井 悟
 これからの災害医療
- ・ 災害医療 理事 小平 祐造
 首都直下型地震では

東京都の救急医療の課題と対策～2040年に向けて

資料8-1

課題

- ・救急需要の増大による困難
- ・医療機関側の受入の課題

対策

- ・救急要請件数を抑制対策
- ・救急受入体制の維持対策

予告

東京都医師会主催
今秋開催!!

救急医療のシンポジウム

これからの災害医療

- 大規模災害に備えて
(浸水・洪水害、地震災害、火山噴火災害)
- 地域の医療機能維持(自立可能医療機能)
・・・医師会、病院主体で地域に啓発
- 公助の前に自助・共助を都民と医師会が一緒に強化

災害医療

令和 6 年能登半島地震

災害支援 JMAT（日本医師会） 1 0 9 7 隊 3 5 8 3 人
（東京都医師会からは 76 隊 3 2 2 人が活動）

高齢社会に降りかかる大規震災害

高齢者施設ごと避難

孤立

避難所での高齢者 長期逗留

首都直下型地震では

都心南部直下の被害想定

死者 6 0 0 0 人、負傷者約 9 万、そのうち重傷者 1 4 0 0 0 人

たとえば・・・

ひとつの災害拠点病院に 1 6 8 名の重症入院

救急搬送 2 0 0 0 人が限度

緊急避難所のほとんどは小中学校の体育館

ベッドや水の供給は不十分 床で過ごすことに

多数の高齢者をどうするか

知ってる、わかってる・・・けど、まだやってない。
平時の備えを！ 行動で！